

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年5月31日

1 事業名	保健委員会活動支援事業			コード	41203	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	百瀬ひろみ
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	保健・医療の充実	施策	健康づくりの推進	
		予算科目	保健委員事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし	
	根拠法令	健康増進法				

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等

*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要 (簡潔に)	市民一人ひとりが健康への関心を高め健康づくりを実践していけるよう、地域で活動する保健委員連合会に対し活動負担金の助成を行うとともに、その活動や会の運営に対して支援を行った。	
目的	対象者	岡谷市保健委員連合会・各地区保健委員会
	意図	健康に対する関心を高め、自らが健康行動を実践するとともに、家族や地域にも健康意識を普及する。

5 事業の実施内容

*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

保健委員連合会・地区保健委員会・保健委員連合会OG会（八笑の会）の、活動計画の企画・立案や運営への協力・支援を行った。	
1. 保健委員連合会	
1) 総会及び地区活動報告会（4月18日（火） 岡谷市役所9階大会議室 参加者81人）	
2) 会議：役員会、理事会（延回数 8回 延参加者数 102人）	
3) 研修：保健事務嘱託員研修（ブロック別）（延回数 15回 延参加者数 228人）	
4) 長野県保健補導員等連絡協議会	
①諏訪支部	
・会議：支部会の開催（年3回）	
・研修：健康づくり体験研修への参加（年1回）	
②県	
・会議：代議員会への参加（年2回）	
・研修：研究大会等研修会への参加（年1回）	
・正副会長研修への参加（年1回）	
2. 各地区保健委員会（延回数 276回 延参加者数 1,799人）	
3. 保健委員連合会OG会（八笑の会）	
保健委員連合会事業（総会等）及び各種健康づくり事業への参加協力や、研修の実施。	
前年度の課題への対応	地区保健委員会での体験型研修（歯科衛生士による歯科指導）や、地区健康学習での「やまびこスケートの森」を活用した体組成測定等、体験し健康づくりの必要性を実感できる講座の企画・調整を行った。

6 指標の達成状況

*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 活動指標（指標名）	保健委員会開催回数			単位 回
実績値	324	285	300	
*指標の説明	保健委員会（理事会・役員会・地区委員会等）実施回数			
② 成果指標（指標名）				単位 人
目標値	2,142	2,331	2,354	2,325
実績値	2,433	2,333	2,210	
達成度	113.6%	100.1%	93.9%	
*指標の説明	保健委員会（理事会・役員会・地区委員会等）参加者の合計			
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の平均人数			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	4,875,936	4,831,824	4,818,847	4,851,000
経常経費	4,875,936	4,831,824	4,818,847	4,851,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	6,400,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000
正規職員の人数(人)	0.80	0.70	0.70	0.70
③ 合計コスト(①+②)	11,275,936	10,431,824	10,418,847	10,451,000
前年度比		92.5%	99.9%	100.3%
財源				
一般財源	11,275,936	10,431,824	10,418,847	10,451,000
内訳				
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	34,802	36,603	34,729	
前年度比		105.2%	94.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
保健委員連合会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	2,112,640	2,104,700	2,090,540	2,085,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	2,112,640	2,104,700	2,090,540	2,085,000
	割合	43.33%	43.56%	43.38%	42.98%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 94.7%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 93.9%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	活動の見直しを行い、理事（地区保健委員長）の負担の軽減に努めているが、会議回数の減少による会運営への影響がないよう情報提供・連絡調整に心がける必要がある。特に年度前半期は、地区保健委員会活動の運営への戸惑い、活動の負担感が大きい時期であり、地区の実状に応じた相談支援が必要。	
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	各地区の実状に応じた相談対応に努め、スムーズな保健委員会活動となるよう支援する。 ・初回研修の際に、地区担当保健師と正副地区会長とで年間計画の打ち合わせを行うとともに、随時、地区活動の相談支援にあたる。 ・理事会やブロック研修での研修の充実、各地区の活動状況に関する情報の共有等により、地区活動支援の強化に努める。	
	改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---